

総務教育常任委員会資料

(令和8年10月8日)

ページ

■ 地域未来戦略(地域産業成長プラン)の状況について

【人口戦略課】・・・2

人口戦略推進本部

地域未来戦略（地域産業成長プラン）の状況について

令和 8 年 1 0 月 8 日
人 口 戦 略 課

地域未来戦略のうち県が策定することとされている「地域産業成長プラン」について、事前確認のため国へ提出したプランのうち 2 件が、9 月 3 0 日（金）に開催された「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第 7 回）」において公表されました。

1 公表されたプランの概要

（1）フード・マニファクチャリング（水産）分野における地域産業クラスター計画

目指す姿：港湾・漁港機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとする高付加価値化により西日本最大級の水産物供給基地を目指す

事業概要：・水産加工品における原料確保の不安定さを解消するため、高度な温度管理が可能な冷凍・冷蔵施設整備や市場機能を強化
・独自加工技術の活用・深化、海外ニーズに合わせた商品開発・販路開拓、地域水産ブランドの認知度向上等による水産加工品の高付加価値化を推進
・飲食・直販機能を持った施設整備や観光業界との連携による新たな観光消費を創出

（2）農林業分野における地場産業成長プラン（きのこ由来の繊維を活用した新素材・製品の開発）

目指す姿：県内生産きのこ由来の繊維を活用した素材の開発・量産化で、世界的に需要が拡大するサステナブル素材市場を目指す

事業概要：・県内のきのこ農家や縫製産業、塗料メーカー等との連携による原料調達から素材開発、製品化までのサプライチェーンを形成
・環境配慮型素材への需要が高い家具・インテリア市場や高付加価値市場であるバッグ・小物市場や自動車内装材市場への参入を目指し、各製品に適した素材開発や関係企業と共同した商品開発を実施
・原料となるきのこを安定的に確保できる生産体制を構築

2 その他のプランの状況

農林業分野（鳥取すいか）は国の事前確認が継続しており、事前確認が完了すれば、知事による発表等、正式提出を経て、国のホームページに公表される予定。

3 今後の予定

- ・ 6 月補正予算「地域産業成長プラン推進事業」（予算額：3 億円）により、地域産業成長プランなど地域未来戦略に基づく民間企業が行う市場調査、ブランド化などのソフト経費やハード整備費用等を、地域未来交付金なども活用しながら支援していく。
- ・ 国は、今後も随時事前確認を受け付け、半期に一度程度まとめて公表されることから、引き続き「とり地域産業成長プラン」検討素案を幅広く周知するとともに、民間事業者からの提案受付を継続し、プランの策定を進めていく。

4 その他

併せて提出していた智頭町策定の農林業分野における地場産業成長プラン（木質バイオマス熱利用型園芸）についても事前確認が完了し、「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第 7 回）」において智頭町長がオンラインで発表された。

1. 産業領域

水産品加工業、食品関連物流業、小売・観光サービス業

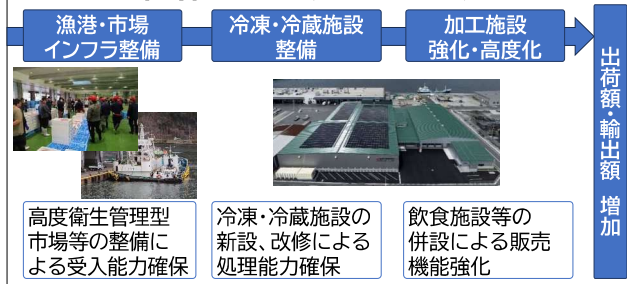
2. 対象エリア

境港市、米子市及び周辺港湾エリア

<特定理由>

鳥取県の食品関連産業は県内製造品出荷額の約2割を占める基幹産業であり、国内有数の漁獲高を誇る境漁港や国際空港・港湾への近接性といった立地条件を活かして、水産品加工業を中心とした関連産業の集積が期待できるため

水産関係サプライチェーンのイメージ



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

○境漁港は水揚量全国第3位、水揚金額約全国第4位であり、また近隣には水産関係企業が多く集積していることから、国内有数の水産基地としてのポテンシャルを有している

○近年、高品質な日本産水産物への需要の高まりに加え、本県の外国人宿泊者数が過去最高を記録したことから、輸出のみならず域内のインバウンド需要を取り込める下地が整っている

（2）目指すべき目標

○官民設備投資額：263億円（R8～R17）
：26.3億円（R17）
○付加価値増加額：8.3億円（R17）
○産業人材育成数：50人（R17）

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

○水産加工品における原料確保の不安定さを解消するため、高度な温度管理が可能な冷凍・冷蔵施設整備や市場機能を強化
○県内企業が誇る独自加工技術の活用・深化、海外ニーズに合わせた商品開発・販路開拓、地域水産ブランドの認知度向上等による水産加工品の高付加価値化を推進
○飲食・直販機能を持った施設整備や観光業界との連携による新たな観光消費を創出

（2）目指すべき姿

○西日本最大級の水産物供給地としての機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとした高付加価値化戦略の実現による水産業クラスターの確立

5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

○冷凍・冷蔵施設の処理能力低下等に伴う陸上の処理能力不足
○大規模設備投資に伴うリスクの高さ
○高付加価値加工品製造への転換
○AIを活用した在庫管理、輸出対応等の業務を行える人材不足
○インバウンド対応など新たな販路開拓への対応

（2）講じるべき政策パッケージ

○漁港・市場インフラの整備促進
○各社が実施する設備投資、AX人材育成への支援
○高付加価値商品開発、観光業界と連携したインバウンドニーズ調査等への支援
○戦略的な企業誘致の促進

鳥取県 農林業分野における地場産業成長プランの概要
（きのこ由来の繊維を活用した新素材・製品の開発）

1. 支援する分野

きのこ類及びきのこ由来繊維を活用した素材

2. 支援する地域及び核となる事業者

日吉津村、境港市、米子市、鳥取市、岩美町

株式会社伯耆のきのこ 他5者



3. 目指す姿（目標）

<現状の整理>

➢ 世界的な脱炭素化やサーキュラーエコノミーへの移行を背景として、動物由来皮革や石油由来合成皮革に代わるサステナブル素材への需要が拡大

➢ 本県においては、人口減少や高齢化に伴う農林業従事者の減少に加え、農林業所得の向上や未利用資源の活用が課題

<目指すべき目標>

・付加価値増加額：16億円（R17）
・新規就業者数：300人（R17）

4. 勝ち筋

<基本戦略>

➢ きのこ由来繊維を原料とした素材を独自の製造技術により量産化し、「環境価値」と「価格競争力」を両立した製品を生成
➢ 県内のきのこ農家や縫製産業、塗料メーカー等との連携による原料調達から素材開発、製品化までのサプライチェーンを形成

<取組の具体像>

➢ 環境配慮型素材への需要が高い家具・インテリア市場や高付加価値市場であるバッグ・小物市場や自動車内装材市場への参入を目指し、各製品に適した素材開発や関係企業と共同した商品開発を実施
➢ 原料となるきのこを安定的に確保できる生産体制を構築

5. 政策手段

①-1 研究開発・実証支援：

公設試験研究機関との共同研究支援、性能評価支援及び実証フィールド提供

①-2 設備投資支援：

量産化設備や品質評価設備等の導入支援

② 環境認証取得・評価支援：

GX認証取得、脱炭素製品評価を支援

③ 販路開拓支援：

ジェトロや各支援機関等との連携による展示会出展、海外商談会参加等を支援

④物流の安定・効率化による物流コスト削減：

高規格道路の延伸やICアクセス道路によるネットワークを強化